

第32期 新規メンバー募集のご案内

新規事業開発担当幹部交流会議

—異業種交流による相互啓発と新規事業開発に繋がるヒューマンネットワーク形成の場—

第1回例会 【日 時】2018年3月28日(水) 13:30～18:30 【会 場】東京・表参道「アイビーホール」

《基調講演とグループ討議・懇親会》

(※本会合への正式入会をご検討中の方に限り、無料で体験参加いただけます。)

『コニカミノルタにおける新規事業開発の取り組み

～失敗から学ぶこれからの新規事業開発』

- ・長い歴史の中で培ったコア技術を新規事業の差別化要素として事業開発を推進
- ・コニカミノルタが実現したサイバーフィジカルシステム
- ・失敗を繰り返しながら顧客提供価値を進化
- ・新規事業を立ち上げる上での肝



コニカミノルタ(株) 産業光学システム事業本部 QOLソリューション事業部長 **三浦 雅範** 氏

略歴 1981年ミノルタカメラ(株)入社。カメラ自動組立機の開発を経て35mmLSカメラ製品設計を担当。1992年よりミノルタマレーシア(R&D Department)に勤務し、現地でのカメラ製品設計を担当。1994年より新規事業の商品開発を担当し、MACの入力機器や道路録、室内自動ドアエンジンを開発。2001年よりコニカミノルタコンポーネッツ(株)へ出向。携帯カメラ用のレンズモジュール事業を立ち上げる。2012年よりコニカミノルタテクノロジーセンター(株) マーケティング部、2014年コニカミノルタ(株) 開発統括本部 第一技術開発センター長を担当し、新規事業をマーケティングドリブンで推進。2017年より産業光学システム事業本部QOLソリューション事業部長として高齢化社会向けのソリューションビジネスを推進する。

第2回例会 【日 時】2018年4月19日(木) 13:30～17:00 【会 場】東京・表参道「アイビーホール」

《特別講演とグループ討議》

『旭化成グループの新規事業創出戦略

～グループ融合による更なる高度化と、深化による新事業の創出』

- ・旭化成グループが2025年に目指す姿
- ・これまでの旭化成の成長と過去の事業創出における具体例
- ・培ってきたコア技術・事業プラットフォームを活かした価値の創出
- ・市場軸・技術軸から見た新規事業創出の考え方
- ・ITを用いたソリューション事業への展開 ～IoT、AI、Big Data 活用による事業活動の高度化



旭化成(株) 代表取締役 兼 副社長執行役員 **中尾 正文** 氏

略歴 1978年東京工業大学大学院総合理工学研究科修了。同年、旭化成工業(現 旭化成株)入社。2004年旭化成電子(株) 代表取締役社長、2006年旭化成エレクトロニクス(株) 研究開発センター長、2009年旭化成エレクトロニクス(株) 取締役兼執行役員、2012年4月旭化成(株) 上席執行役員兼新事業本部長、同年6月旭化成(株) 取締役、2014年上席執行役員兼研究・開発本部長、2015年常務執行役員兼研究・開発本部長、2016年4月専務執行役員、同年6月取締役兼専務執行役員、2017年代表取締役兼副社長執行役員、現在に至る。

第3回例会 【日 時】2018年5月18日(金)・19日(土) 【会 場】静岡県・伊豆の国市「大仙家」

《合宿研究会／コーディネーター講義・グループ討議と全体討議》

『新たな価値を創造する新規事業開発

～メンバー各社の新規事業開発の現状と課題、問題意識を踏まえて』

※メンバー各社の事業環境、現在抱えている課題・問題意識を「メンバー交流シート」を活用しながら報告し合い、「新規事業創出に向けたポイント」についてグループ討議を行います。

第4回例会 【日 時】2018年6月19日(火) 13:30～17:00 【会 場】東京・表参道「アイビーホール」

《ゲスト講演とグループ討議》

『富士フイルムにおけるオープンイノベーションとデザイン思考の取り組み』

- ・「融和と革新」を実現する社内外コミュニケーションの重要性
- ・富士フイルム流デザイン思考 — 基本的考え方、導入の背景、効果と課題
- ・オープンイノベーションに対するデザイン思考の役割
- ・Open Innovation Hub の取り組み (具体的事例)、他



富士フイルム(株) 経営企画本部 イノベーション戦略企画部 シニアエキスパート Open Innovation Hub 館長 **小島 健嗣** 氏

略歴 1986年富士フイルム(当時富士写真フイルム)入社。デザインセンターでプロダクトデザインを担当後、インターフェースデザイン、デジタルコンテンツデザインなど、各グループを立ち上げる。2006年よりR&D(研究開発)の現場で、技術の本質機能の可視化により社内のコミュニケーションを活性化させる「デザイン思考」を活用した観察とプロトタイプワークショップを6年間実践。2011年R&D統括本部技術戦略部で技術広報およびオープンイノベーションを担当。2015年3月より現職。写真フイルムの研究開発で培った基盤技術やコア技術を新しい市場に生かすため、同社と顧客企業が単独で解決できない課題をオープンに語り合い、イノベーションに繋げる「共創の場」(Open Innovation Hub/2014年開設)を運営している。

第5回例会 【日 時】2018年7月17日(火) 13:30～17:00 【会 場】東京・表参道「アイビーホール」

《メンバー発表とグループ討議》

『ヤマハのイントレプレナープラットフォーム “Value Amplifier”の取り組み』

*新しい何かを生み出す時、一番大事なものはIQでもセンスでもなく「想い」です。実現したい世界に向かってチャレンジする人間を発掘しアイデアを育てる、イントレプレナー（社内起業家）プラットフォームにおける新規事業創出への取り組みを、他のオープンイノベーション施策も交えてお話いたします。

ヤマハ(株) 研究開発統括部 新規事業開発部 VAグループリーダー 畑 紀行 氏



略
歴

1992年ソフトウェアエンジニアとしてヤマハ株式会社へ入社。電子楽器事業本部にて音源IC開発、DSPプログラミングを担当。その後、次世代音源開発や新規商材企画を進めながら新規事業に興味を持つ。2002年から一貫して新規事業に携わり続け、ユニファイドコミュニケーション向けマイクスピーカーや、スピーチプライバシーシステム等、多数の新事業立ち上げをディレクションする。2015年からはイントレプレナープラットフォーム“Value Amplifier”代表。

第6回例会 【日 時】2018年8月21日(火) 13:30～17:00 【会 場】東京・表参道「アイビーホール」

《ゲスト講演とグループ討議》

『日立のIoTプラットフォーム“Lumada”による 新たな価値創造とオープンイノベーションの取り組み』(仮)

(株)日立製作所 執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長 鈴木 教洋 氏



略
歴

1986年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、日立製作所入社。デジタル画像信号処理、組込みシステムなどの研究開発に従事後、2012年日立アメリカ社シニアヴァイスプレジデント兼CTO、2014年中央研究所所長、2015年研究開発グループ社会イノベーション協創統括本部長を経て、2016年から現職。

開催にあたって

グローバル競争の熾烈化、異業種参入などのボーダーレス化、デジタル化の進展やIoT・AIの普及、ビジネスサイクルの短縮化など、企業を取り巻く環境が、かつてないほど大きく変化し、過去の常識が通用しなくなる中で、企業として成長を続けていくためには、既存事業の更なる強化に加え、国内外の魅力ある市場・産業を視野に入れた新規分野を多面的に開拓し、新たな価値を創造する新規事業開発が必要不可欠です。

当交流会議では、世界の潮流や技術革新・顧客嗜好の変化に対応した新規事業の創出に向けた戦略、組織として新規事業を生み出し続けるための体制・仕組みのあり方や、異業種・異分野との“共創”によるイノベーションの推進等も含む、その有効な具体策について、先進事例や今日的トピックスをもとに実践的な討議を行います。新規事業開発に役立つ発想や知識を得ていただけることは勿論、立場を同じくする新規事業開発担当の幹部・リーダーの方々による、信頼と協力関係をベースとした議論と交流を通じ、実際の新規事業に繋がるヒューマンネットワークを形成する場としても、大いにご活用をいただけます。

第32期開催にあたり、本趣旨にご賛同をいただける意欲的かつ熱意ある方々の参加を、切にお願い申し上げます。

参加対象

新規事業開発、研究・技術開発部、技術・事業企画部、マーケティング部等において新規事業開発をご担当、推進されている幹部・リーダーの方々

運営要領

研究テーマ	メンバー各社が抱えている課題・問題意識を反映し、最も関心のあるテーマを幹事・事務局で協議の上、毎例会の講演内容や、合宿研究会における研究・討議テーマとして決定します。
例 会	新規事業開発をめぐる今日的トピックスや先進企業の成功・失敗事例、メンバーによる問題提起など、各方面の専門家、実務家からの話題提供を題材に、実務に直結した議論を行います。
合宿研究会	年2回(5月・11月)の合宿研究会では、時間の制約から解放されたグループ討議、意見・情報交流を通じて、研究テーマ(新規事業開発に求められる視点、新規事業を成功に導くために必要な戦略・施策等)を掘り下げるとともに、メンバー同士の更なる親睦を図ります。
企業見学会	新規事業開発の現場や企業の研究施設、工場などを訪問(10月)、視察見学、意見交換を行います。
本会の特徴	1. 新規事業開発のトレンドや考え方、実践手法について、最新の情報を収集できます。 2. 異業種交流を深めることにより、業種・業態を越えた新たな発想(気付き)が得られるとともに、新規事業に繋がる貴重な“社外ネットワーク”を形成することができ、今後の財産となります。 (メンバーの相互訪問や、キーマンの紹介など、例会外においても積極的な交流を図っています。) 3. 互いの守秘義務を順守しつつ、ギブアンドテイクをモットーに本音ベースの意見交換を行います。

【コーディネーター】	合同会社SNパートナーズ	代表取締役 (元 富士フィルム(株) 新規事業開発本部フェロー)	品川 幸雄
【運 営 幹 事】	旭化成(株)	研究・開発本部技術政策室シニアマネージャー	斉藤 修
	(株)ニコン	財務・経理本部 I R 課主幹	久後 泰三
	オリンパス(株)	イノベーション推進室技術戦略部2グループグループリーダー	田島 信芳
	古河電気工業(株)	戦略本部新事業推進部事業開発室主幹	大島 宏文
	アサヒグループ食品(株)	研究開発企画部長	田頭 素行
	(株)サンマーク出版	取締役財務部部長社長秘書室長兼任	盛岡 誠治
	【研究協力委員】	合同会社MOTT	代表取締役 (元 (株)リコー グループ技術開発本部)

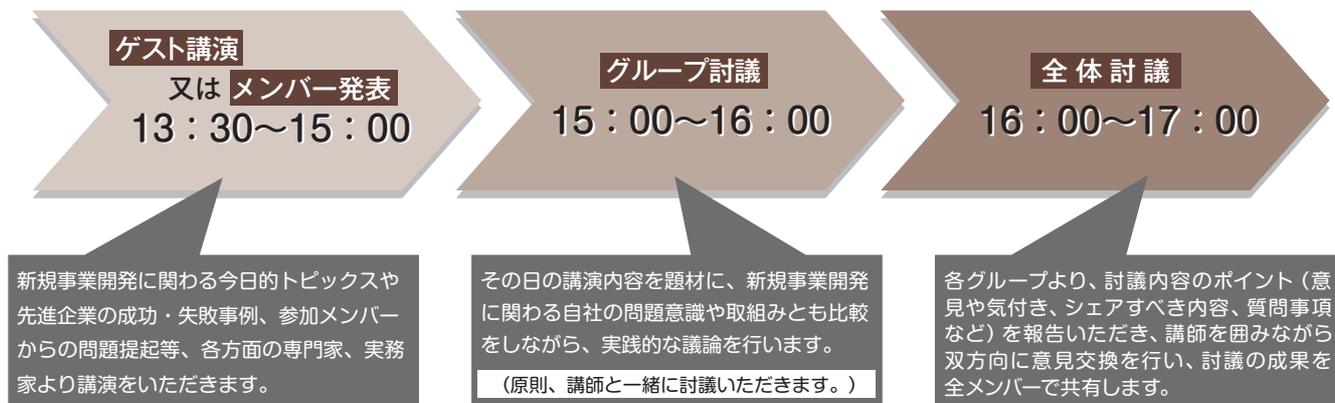
第32期の進め方

【開催日】2018年3月～2019年1月 (全12回／13:30～17:00を原則、都内会議室で開催)

第1回	第2回	第3回 合 宿	第4回	第5回	第6回
3 / 28 (水)	4 / 19 (木)	5 / 18 (金) ・ 19 (土)	6 / 19 (火)	7 / 17 (火)	8 / 21 (火)
第7回	第8回	第9回 見学会	第10回 合 宿	第11回	第12回
9 / 11 (火)	10 / 2 (火)	10月下旬	11 / 16 (金) ・ 17 (土)	12 / 11 (火)	19 1 / 15 (火)

* 5月・11月の合宿研究会、10月の企業見学会はスケジュール・会場が異なります。

【毎例会の基本的流れ】(時間配分は目安です。)



【グループ討議の大きな特徴】

*一般的なセミナースタイル(講演+質疑応答)とは異なり、原則、講演を終えたばかりの講師にも加わっていただく“講師と直接対話ができるグループ討議”を行うことで、講演内容をより具体的かつ実践的に理解し、吸収することができます。(グループ討議後の全体討議についても、講師を囲みながらの意見交換を行います。)

【有志勉強会(毎例会前に実施)】

*例会当日の午前(11:00～12:30)を活用した、新規事業に関する書籍の“輪講”を主体とする勉強会。

新規事業に関する書物を読み、メンバーと意見交換することで自らの理解を補うことができます。更には、市場動向や企業動向、新規事業開発担当者としての心得など、生きた情報を得ることもできます。

<過去8年間の勉強会テキスト(書籍)一覧>

『3000億円の事業を生み出す「ビジネスプロデュース」成功の道』(三宅 孝之・島崎 崇)、『ビッグバン・イノベーション』(ラリー・ダウンス+ポール・F・ヌーネス)、『経営の失敗学』(菅野 寛)、『シリアル・イノベーター「非シリコンバレー型」イノベーションの流儀』(アビー・グリフィン、レイモンド・L・プライス、ブルース・A・ボジャック)、『新しい市場のつくりかた』(三宅 秀道)、『リーン・スタートアップ』(エリック・リース)、『ストーリーとしての競争戦略』(楠木 建)、『新規事業・成功の教科書』(坂本 桂一)

【研究テーマ】

◆ 『新たな価値を創造する新規事業開発、異業種・異分野との“共創”によるイノベーション』

1. 新規事業開発の戦略・企画、ビジネスモデル（儲ける仕組み）の構築

- グローバル・トレンドの分析と市場・産業の動向を視野に入れた新規事業開発
 - ・世界経済の行方、グローバル規模での産業界の潮流 ～世界では今何が起きているのか、市場はどう変化するのか
 - ・ライフサイエンス、環境・資源エネルギー、住・くらし、モビリティ、ロボティクス分野等の動向
 - ・IoT・ビッグデータ・AI（人工知能）による産業構造の変化と新成長産業分野の動向
- 新たな価値、魅力ある事業コンセプトの創造とビジネスモデルの構築
 - ・明言化されない真の市場・顧客ニーズの読みと商品・事業構想
 - ・イノベーションを目指す、常識の枠（バイアス）を取り払った思考の必要性
 - ・「モノ」と「サービス」の融合、ITを用いたソリューション事業による新たなビジネスモデルの構築
- 新規事業開発の戦略と企画立案
 - ・経営首脳の思いとの意思統一、社内との意思統一、戦略の整合化
 - ・コアコンピタンス・コア技術の定義、市場縮小やコモディティ化への対策
 - ・市場と技術、ニーズとシーズのマッチング
 - ・グローバルな事業ポートフォリオ管理、事業ドメインの決定、及び開発対象の選定・絞り込みの方法

2. 新規事業開発の効果的かつ効率的な推進策 ～事業化の壁をどう超えるか～

- 異業種・異分野との“共創”によるイノベーション
 - ・オープン・イノベーションの推進と具体策 ～異業種・産学との連携、M&A、アライアンス、ベンチャー活用等
 - ・自社リソースの強み（競争優位性）と弱みを分析し、評価する仕組み
 - ・自前主義、独自性担保とオープン・イノベーションとのバランス、最終的なアウトプットの描き方
- 事業評価と将来のニーズを読んだ迅速かつタイムリーな意思決定
 - ・開発、事業化のスピードアップと「GO / STOP判断」のタイミング
 - ・事業性の可否判断（撤退判断基準の明確化）
 - ・迅速な意思決定プロセスとトップを支える戦略参謀に求められる実行力
- 市場導入・市場開拓戦略の考え方とマーケティングの実践
- 失敗からいかに学び、次にいかに生かすか
 - ・環境変化にともなう軌道修正と事業戦略再構築の進め方

3. 新規事業推進のマネジメント ～組織・体制・仕組み～

- 組織としての強みを十分に発揮した新規事業開発の体制・仕組みと運用
 - ・組織としてイノベーションを生み出し続けるための仕掛け
 - ・新規事業人材、優秀なマーケットターの質的・量的強化に向けた方策
 - ～「能力&熱意のある人」をどう見出すか、外部から呼ぶのか？内部で育成するのか？
 - ・新規事業開発における研究開発の位置付けと役割、R&D部門と事業部門との人材ローテーション
 - ・既存事業部門との円滑な連携、営業面での協力、販売チャネルの組織化
- 新しい価値を創造するイノベーターの発掘と育成
 - ・動機付け、評価およびインセンティブ ～中長期視点に立脚し、短期的成果主義とどう棲み分けるか
- 起業的、挑戦的企業風土の醸成とトップの理解・支援

《研究テーマ／講演内容》

1	『味の素におけるオープンイノベーションと新たな価値創造』	味の素(株) 常務執行役員 研究開発企画部長
2	<合宿研究会> (静岡県・大仙家) 『新たな価値を創造する新規事業開発 ～メンバー各社の新規事業開発の現状と課題、問題意識を踏まえて』	
3	『日立造船×「阪大Hit z協働研究所」における新たな産学連携のかたち』	大阪大学大学院工学研究科 特任教授 Hit z協働研究所 所長 中澤 慶久 氏
4	『NECにおける新規事業開発の取り組み』	日本電気(株) シニアオフィサー
5	『旭硝子の差別化技術による新たなビジネスの創造』	旭硝子(株) 電子カンパニーCSR室 環境・安全グループマネージャー
6	『オリンパスにおける医療機器開発 ～内視鏡が起こした消化管治療のイノベーションを踏まえた事業開発のあり方』	オリンパス(株) 執行役員 事業開発室長
7	『リコーにおける新規事業創造とTHE TA開発』	(株)リコー 理事 Smart Vision事業本部 事業本部長
8	<企業見学会> (アサヒグループホールディングス(株) 研究開発センター・茨城工場) 『アサヒグループホールディングスにおける新規事業開発の取り組み』	アサヒグループホールディングス(株) 経営企画部門(兼) 研究開発部門 プロデューサー
9	<合宿研究会> (静岡県・時之栖) 『新たな価値を創造する新規事業開発 ～実践編／ケーススタディ』	
10	『パナソニック 本社R&D部門のオープン・イノベーション ～ベンチャー投資・協業の取り組みと展開～』	パナソニック(株) 本社CTO室 技術戦略部(兼) コーポレート戦略本部 ベンチャー戦略室 ベンチャリング担当主幹
11	『エルテスにおけるデジタルリスクを解決する社会インフラ創出に向けた取り組み』	(株)エルテス 代表取締役
12	『海外M&Aにおける成否の分岐点』	同志社大学大学院ビジネス研究科 准教授 松本 茂 氏

前期(第31期)

新規事業開発担当幹部交流会議 参加メンバー

(順不同／所属は2018年2月時点)

旭化成(株)	研究・開発本部技術政策室シニアマネージャー	(株)神戸製鋼所	エンジニアリング事業部門市場開発室次長
(株)ニコン	財務・経理本部IR課主幹	コニカミルタビジネスアソシエイツ(株)	事業開発室連携推進グループ地域・産学官連携担当
オリンパス(株)	イノベーション推進室技術戦略部2グループグループリーダー	JXTGエネルギー(株)	機能材カンパニー機能材研究開発部機能材研究企画グループマネージャー
古河電気工業(株)	戦略本部新事業推進部事業開発室主幹	太陽誘電(株)	開発研究所開発企画部長
旭硝子(株)	電子カンパニーCSR室環境・安全グループマネージャー	THK(株)	産業機器統括本部技術本部事業開発統括部長
合同会社SNパートナーズ	代表取締役(元 富士フィルム(株) 新規事業開発本部フェロー)	東芝テック(株)	ビジネス・イノベーションセンターセンター長
アサヒグループ食品(株)	研究開発企画部長	東洋インキSCホールディングス(株)	グループ経営部新事業開発グループ
アルプス電気(株)	技術本部技術本部付主幹技師	豊田合成(株)	開発本部研究開発部部長
出光興産(株)	アグリバイオ事業部海外事業統括マネージャー	豊田合成(株)	開発本部製品開発センター新製品工法開発部部長
花王(株)	研究開発部門研究戦略・企画部主任研究員	(株)豊田自動織機	経営企画部事業企画室主査
(株)サンマーク出版	取締役財務部部長社長秘書室長兼任	(株)西島製作所	執行役員東京支社長
(株)J&J事業創造	執行役員開発本部長	日本ガイシ(株)	新規事業企画室
住友重機械工業(株)	技術本部技術研究所物理応用グループ研究員	(株)日本触媒	事業創出本部企画推進部部長
(株)ダイセル	知的財産センター知的財産グループ主席部員	パナソニック(株)	イノベーション推進部門本社CTO室共通技術サポート部技術広報課
帝人(株)	技術本部技術企画部担当部長	東山フィルム(株)	営業本部営業企画部チーフ
日本信号(株)	技術開発本部研究開発センター知的財産管理室課長	日立造船(株)	技術開発本部開発企画部主任技師
パナソニック(株)	エコソリューションズ社総合技術センター機能空間技術部長	持田製薬(株)	事業開発本部アルギン酸事業推進室専門副部長
(株)リコー	理事 事業開発本部本部長ヘルスケア事業センター所長	ヤマハ(株)	研究開発統括部新規事業開発部VAグループリーダー
味の素(株)	アミノサイエンス事業本部化成品部事業開発グループ	(株)LIXIL	TR本部研究開発統括部技術戦略推進部部長
アルパイン(株)	インフォテイメント設計部マネージャー	新エネルギー・産業技術総合開発機構	材料・ナノテクノロジー部主査
宇部興産(株)	研究開発本部企画管理部主席部員	アズビル(株)	ITソリューション本部ITソリューションビジネス推進部(ISBD)
オリンパス(株)	イノベーション推進室技術戦略部2グループ課長代理	旭化成(株)	研究・開発本部技術政策室イノベーション戦略部マネージャー
(株)カネカ	Performance Fibers Solutions Vehicle技術統括部(開発) 幹部職	古河電気工業(株)	戦略本部新事業推進部事業開発室主査
(株)カネカ	Performance Fibers Solutions Vehicle統括グループ管理チーム主任	富士電機(株)	技術開発本部イノベーション創出センター技術マーケティング室主席
川崎重工業(株)	マーケティング本部市場調査部担当部長	合同会社MOTT	代表取締役(元 (株)リコー グループ技術開発本部)
京セラ(株)	研究開発企画部責任者		

『異なる視点による本音の議論で、自らの新規事業を見つめ直す！』

■これまで、新規事業に関する様々な課題を一企業の中で悩んでいましたが、本交流会議において異業種の新規事業開発責任者の方々と本音の議論をすることで、自らの新規事業を見つめ直すきっかけとなり、自社内では気付かなかった課題解決のヒントを得ることが出来ています。また、年2回の合宿や企業見学会、毎月の定例会前に実施している有志勉強会や参加企業のショールーム等見学会においても毎回非常に活発な情報・意見交換が行われており、私自身、実際に他の参加企業との連携による新規事業の芽も見出しています。皆さんもぜひ一度、この輪に加わってみてください。

旭化成(株) 研究・開発本部技術政策室シニアマネージャー

『自らのセンスを磨き、社内説得の武器を得る』

■新規事業のネタがない、技術の棚卸しができない、新規事業がなかなか立ち上がらない、立ち上げたが前に進まない、失敗したが次につながらない、組織・風土改革がうまくいかない、人材が集まらない・育たない...など、新規事業に携わっている方々は多くの問題意識を持っています。私も同じ悩みを抱えて、5年前に本交流会議に参加し、その後、継続参加しています。本交流会議では1年を通して様々な事例、環境動向、新たな考え方の気づきが得られ、毎回、自社に持ち帰る情報がいっぱいです。得られる知識と人脈は自分の武器になりセンスを磨くことにつながっていると感じています。

オリンパス(株) イノベーション推進室技術戦略部2グループグループリーダー

『貴重なインプットの場』

■新規事業が思うように立上らない、多くの会社で同じような悩みを持つ担当者や幹部が数多くいると思います。新規事業関連の書籍も多数出ていますが、実際には簡単ではありません。本交流会議では、様々なバックグラウンドを持つメンバーと一緒に講演を聞き、ディスカッションをすることで、新規事業開発の進め方のポイントを発見でき、講師やメンバーからのアドバイスを通じ、「自分の考え方が正しいか？」を再確認できます。また、例会前の勉強会では、自分では読まないような本を輪読、討議することで理解が一層深まります。私は、社内でアウトプットして行くための「貴重なインプットの場」として、本交流会議を大いに活用しています。

古河電気工業(株) 戦略本部新規事業推進部事業開発室主幹

第32期 新規事業開発担当幹部交流会議 申込要領

事業コード：170015

1名につき **正会員** 本体価格 **280,000**円+消費税 **一般** 本体価格 **310,000**円+消費税

- * 「正会員」とは、一般社団法人企業研究会に法人会員としてご登録いただいている企業のことです。(登録の有無は、当会ホームページ(TOP) → (会員一覧)でご確認いただけます。)
- * 合宿参加費(30,000円程度)や特別懇親会費などは、別途実費をご負担いただけます。
- * 分割や次年度のお支払いも承ります。お気軽にご相談ください。

【体験参加について】第1回例会(3/28)は、当交流会議への正式参加をご検討いただける方に限り、会場の雰囲気やメンバー構成をご覧いただく体験参加をお受けします。ご希望の方は、当会ホームページよりお申込みください。(※講演部分のみの体験参加はお受け致しかねますので、予めご了承ください。)

参加料

申込方法

以下【1】【2】のいずれかの方法でお申込ください。(体験参加も同様です)

【1】 企業研究会ホームページ内 申込フォームより **企業研究会 新規事業幹部**

【2】 担当者へのメール (以下項目を担当 上島 kamijima@bri.or.jp まで直接ご送信下さい。)

①御社名 ②所在地 ③参加者お名前 ④ご所属・お役職 ⑤E-mail ⑥TEL ⑦正式参加 or 体験参加
※お申込窓口(事務担当、秘書など)がおられる場合は以下も併せてお知らせ下さい。

①お申込窓口お名前 ②ご所属・お役職 ③E-mail ④TEL ⑤請求書送付先(ご参加者orお申込窓口)

* 正式参加の方には、折り返し請求書をお送り致します。なお、ご記入いただいた個人情報は、「第32期 新規事業開発担当幹部交流会議」に関する事務連絡および弊社主催事業のご案内に利用させていただきます。

◆担当：一般社団法人 企業研究会 「第32期 新規事業開発担当幹部交流会議」事務局

担当：上島(かみじま) E-mail:kamijima@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2階 TEL:03-5215-3516